

次世代エネルギー・社会システム実証事業成果報告 【平成26年度報告】

補助事業者名 : 株式会社東芝
補助対象事業名 : I-1-2 エネルギーマネジメントシステムに関する調査・研究事業
運転予備力調達型DRに関する実証（横浜）
事業名称 : インセンティブ原資
全体の事業期間 : 平成26年4月1日 ~ 平成27年3月10日

事業の目的と目標

目的：

「I-1-1 エネルギーマネジメントシステムの構築 運転予備力調達型DRに関する実証（横浜）」で構築したシステムを用いた社会実験と連動し、需要家の行動とインセンティブの関係の調査・研究に資することを目的とする。

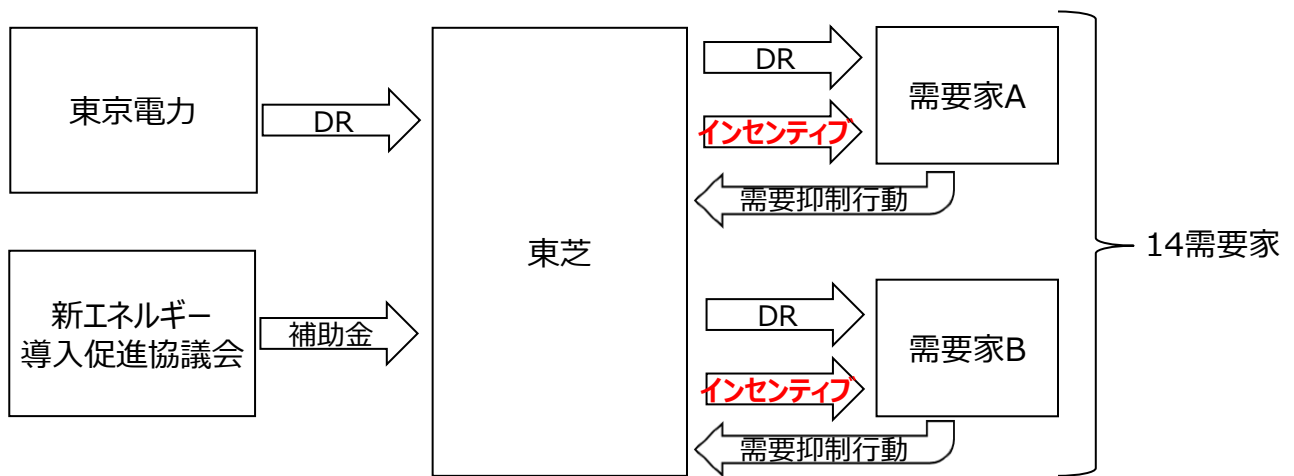
目標：

「I-1-1 エネルギーマネジメントシステムの構築 運転予備力調達型DRに関する実証（横浜）」で構築したエネルギーマネジメントシステムを用いた社会実験（デマンドレスポンス実証）としてデマンドレスポンスを実施し、インセンティブを支払う。

実証事業の概要

本実証では、需要家に対して運転予備力調達型デマンドレスポンス（DR）を発行し、需要抑制の協力を求め、反応を確認した上で、インセンティブを振り込んだ。主な需要家は、オフィスビル、工場、上下水道、展示場等である。BEMS等で提供される機能を利用して実証に参加した需要家もあった。

なお、本実証は電気事業法上の一般電気事業者である東京電力株式会社との共同提案で実施した。



本事業では赤字で示したインセンティブの支払いを行った。

実証事業の成果

平成26年度は夏季15日（7月、8月、9月）、その他24日（10月、11月、12月、1月）のデマンドレスポンスを発行し、合計約26.3百万円のインセンティブの支払いを行った。